

インドネシア活動報告⑪

株式会社マジオネット

JICA 青年海外協力隊 2016 年度 2 次隊

山口 麗子

【今月(1/16~2/15)の活動】

- ・学校巡回(計 11 回) ・タイでのごみ拾い活動 ・マレーシア隊員の学校巡回見学
- ・エコツーリズムフォーラム ・ごみ銀行展示会 ・名古屋市立大学生との意見交換会
- ・国交 60 周年記念イベント決起会、打ち合わせ ・日本語教室(計 2 回)

◎学校巡回

先月、ADIWIYATA コンテスト委員会会議が行われたことで、早く訪問して欲しいと学校からの依頼があった為、集中訪問していた学校の授業時間を短くし、1 日 2 校訪問するような形で対応した。巡回が再始動して早々スケジュール変更が後を絶たず、予定していた 1 校につき 3 回訪問型のプログラムも上手く実行することができていない。しかし、ごみ銀行も学校も意欲的に参加してくれるようになっているので、無理に合わせてもらおうとせず臨機応変にお互いが良いと思える巡回スタイルにしていきたいと考えている。

◎タイでのごみ拾い活動&マレーシア隊員の学校巡回見学

JICA ボランティアの規定で、年間 20 日間任国外旅行をすることが認められている為、今回はその内 8 日間を使って、タイ・マレーシアへ行って来た。タイはロンボク島のような小さな島へ行って来たが、そこでは「Trash Hero」という団体が毎週ごみ拾いをしているとのことであったので参加した。国立公園となっている無人島へボートで移動し、ゴミ拾いを行ったが、漂流してきたペットボトルのあまりの多さに驚いた。また、マレーシアでは自身と同じように学校で環境教育を行っている隊員がおり、活動の様子を見学させてもら



集めたごみはボートに載せ、ごみの運搬システムがある別の島へ運んだ。

った。自身が行っている授業よりもアクティビティが多く、子どもたちに飽きさせない授業を行っていた。授業後は隊員へフィードバックを行うと共に、インドネシアではどのように活かせるかディスカッションも行い、インドネシア以外の国の環境問題を知る良い機会となった。

◎エコツーリズムフォーラム

NPO 法人ゆいツールの主催で各地のごみ銀行や環境・観光関連の企業や行政機関が招待され、エコツーリズムフォーラムが開催されたので、自身も参加した。今、ロンボクでは「DESA

WISATA」という村に滞在し、村の住人と共に伝統的な暮らしを体験するツアーを推している。しかし、多くの村ではごみ問題が解決しておらず、成功している地域は少ない。今回、フォーラムを通じてそのような環境問題に悩む住民や観光業関連の方々と知り合うことができたので、今後、何か力になれるよう情報交換を続けていく。

◎ごみ銀行展示会

環境局の出展として、ごみ銀行で作られている手工芸品の販売を行った。自身もブースに立ち、ごみからどのように商品を作っているのか説明を行った。中でも、最近力を入れている「エコブリック」には、LOMBOKPOST という新聞社が興味を持ってくれ、記事にもしてもらえた。



◎名古屋市立大学生との意見交換会

2/14 ESD(持続可能な開発のための教育)を学んでいる学生3名と教授、ゆいツールの関係者3名を対象に、青年海外協力隊についてと自身の活動についてプレゼンを行い、その後意見交換を行った。学生たちが普段学んでいるESDの視点から活動内容を評価してもらえたので、今後の活動の参考になる点が多くあった。

◎日伊国交 60 周年記念イベント決起会、打ち合わせ

1/29 ロンボクにて国交 60 周年記念イベント「NIPPON 文化祭り」の開催へ向けた決起会が行われ、その後、頻りに打ち合わせを行っている。私は、美術監督として担当を割り振られており、会場内の装飾を考案している。また、当日はファッションショーと日本踊り(牛深ハイヤ節)のパフォーマンスに出演予定である。イベントまで残り 2 週間と迫っており、焦る部分もあるが、日本とインドネシアの良い交流機会となるよう精一杯尽力していく。

【交通面について～ガソリン販売～】

今月は、インドネシアのガソリン事情について報告する。住み慣れて、今や当たり前になったが、インドネシアでは至る所で一般人がガソリンを販売している(1瓶 100 円程度)。日中は炎天下の中さらしているので心配になるが、意外と大丈夫なことに初めの頃は驚いていた。多めに給油したいときは国営の石油会社



バイクがほとんどだが、車でも給油できる。

「Pertamina」を利用する。ロンボクには大きな給油施設は「Pertamina」しかない。